2026 年 10 月 28 日

お客様各位

株式会社日立ソリューションズ
Juniper Networks 製品ユーザーサポート

【脆弱性】PHP の脆弱性（CVE-2026-109618／CVE-2026-109619）の影響について(第三報)

平素は Juniper Networks 製品をご利用くださいまして誠にありがとうございます。
PHP の深刻度の高い脆弱性が 2 件（CVE-2026-109618／CVE-2026-109619）公開されています。当該脆弱性に関する Juniper Networks 製品への影響を、以下にご案内いたします。

※ 太字箇所は追記もしくは変更箇所となっております。

敬具

記

1. CVE-2026-109618／CVE-2026-109619 の影響

現時点での影響確認状況は以下の通りです。

SRX、EX および QFX は脆弱性を内包するが悪用できないため無害との見解が公表されました。

<脆弱性を内包するが悪用できないため無害>

- **SRX**
- **EX**
- **QFX**

<影響なし>

- **Mist(*)**
- **Junos Space**

(*)但し、WAN Assurance については調査中です。

尚、SRX は、25.2 系以降のバージョンでは、PHP を利用していません。弊社では、25.2 系はリリースしていません。25.4R1 をリリースしています。

2. Juniper Networks 製品セキュリティアドバイザリ

Juniper Networks 製品のセキュリティアドバイザリは、下記 Knowledge Base の Security Advisories(JSA)リンク先のページに掲載されます。

最新の脆弱性情報は以下サイトをご覧頂き、適時ご利用環境の対策をいただきますようお願いします。

尚、同サイト記載内容以上の情報は開示されていません。記載内容の解釈また内容等については、弊社

サポートではお答えいたしかねます。予めご了承ください。
セキュリティアドバイザリは RSS 配信も行われていますので、併せてご活用ください。

Juniper Networks Support Portal / Knowledge Base
<https://supportportal.juniper.net/s/knowledge>

2026-10 Reference Advisory: Status of PHP2Shell vulnerabilities on Juniper Products (CVE-2026-109618, CVE-2026-109619)
<https://supportportal.juniper.net/s/article/2026-10-Reference-Advisory-Status-of-PHP2Shell-vulnerabilities-on-Juniper-Products-CVE-2026-109618-CVE-2026-109619>

3. 弊社更新について
弊社においても公開情報を継続して確認し、適宜更新いたします。

以上